



レスポнда設定

この章では、次の内容について説明します。

- [レスポнда設定の概要 \(1 ページ\)](#)

レスポнда設定の概要

このページには、[レスポнда設定 (**Responder Settings**)] の完全な情報があります。

レスポндаをインストールすると、デフォルトでは [**Suspend**] 状態になります。つまり、レスポндаがデータを収集または送信することはありません。この状態では、マスター IP アドレスと共有秘密鍵はデフォルトで [**Disable**] 状態になっています。

レスポндаの有効化

- ステップ 1** [有効化 (Enable)] をクリックし、[レスポндаの設定 (Responder Settings)] ページで、レスポндаの状態を手動で選択します。
- ステップ 2** [UCOD マスターノード (UCOD Master Node)] フィールドに、ホスト名またはマスター IP アドレスのいずれかを入力します。
-

共有秘密キーの設定

レスポндаの状態を有効にして UCOD マスターノードを入力し、**共有秘密鍵**を設定します。これは任意ですが、データを保護するため強く推奨します。これは Master とレスポнда間の通信を保護します。



(注) Master と関連付けられたレスポндаの両方に同じキーを提供する必要があります。

共有秘密鍵は、以下のポリシーに基づき設定します。

鍵のポリシー：

1. 英数字（大文字と小文字を区別）
2. 長さは 8 ～ 24 文字
3. 特殊文字は不可

登録ステータス

ステップ 1 [適用 (Apply)] をクリックして、レスポンドの設定を正常に登録します。
共有秘密キーを設定すると、それに応じて登録ステータスを変更されます。

ステップ 2 以下のそれぞれの理由を確認してください。

1. **登録済み**：マスターへの登録が正常に終了した。
2. **保留中**：レスポンドが中断されているか、またはマスターが登録に利用できない（デフォルトの状態）。
3. **未登録**：レスポンドの IP がマスターの承認済みリストにない。
4. **一時停止**：レスポンドが中断状態である。ただし、マスターは、承認済みリストにこのレスポンド IP を持っている。

マスター IP アドレス/共有秘密キーの検証が正常に行われると、レスポンドは正常にマスターに登録されます。

(注) 正しいマスター IP アドレスやホスト名を指定しない場合、[レスポンド設定 (Responder Settings)] ページの [適用 (Apply)] ボタンは無効になります。
